

# 学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立小田高等学校

学校番号（28）

評 価 実 施 日		令和2年2月27日（木）		
委 員	氏 名	所 属 等	備 考	
		河本 久美子	学校評議員、地域代表、前内子町主任児童委員	
		池田 慎一	学校評議員、地域代表、前立石自治会長	
		西口 邦彦	学校評議員、地元企業代表	
		本田 修司	学校評議員、地域代表、寺村自治会長	
		福岡 旭	学校評議員、内子町教育委員	
		佐伯 隆生	小田中学校教頭	
		山本 勝利	保護者代表、PTA会長	
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等		
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と協働し、生徒が主体的に考えて行動を起こしたりする教育活動が行われている。</li> <li>・起業家教育プログラムを筆頭にした様々な取組から、小田高校全体の魅力化を図ろうとする教職員のエネルギーを感じる。</li> <li>・生徒のことを考えた教育プログラムとなっており、感心する。地域貢献を目指す進学者の増加などから、成果がうかがえる。</li> <li>・「充実した学校生活を送っているか」の項目で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた生徒・保護者・教職員が8～15%いることは、検討を要する。</li> </ul> <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な外部講師を招へいし、魅力ある教育活動が展開されており、生徒の充実ぶりが伝わってくる。</li> <li>・生徒は真面目な態度で授業に取り組んでいるようであるが、家庭学習の習慣があまり身に付いていないと答えた生徒が28%いる。家庭学習習慣の定着が図れるよう、継続的な指導をお願いしたい。</li> <li>・やる気を引き出す指導の充実に対する学校自身の評価がBとなっているのは、少し辛いのではないかと感じる。</li> <li>・中学校の生徒から、「小田高校は、一人一人を大切にしてくれる。」との評判を聞く。「個を大切にされた指導」「個に応じた指導」が浸透していることが伝わってくる。</li> <li>・先生方の熱心な指導により、生徒たちの学習意欲が上がり、大変うれしく思っている。</li> </ul> <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆勤率が59%で目標の60%に少し届かなかったとのことであるが、体調の悪いときは我慢して出席するのではなく、直してから登校する方がよいと思う。</li> <li>・学校を訪れた際、気持ちのよい挨拶をしてくれる。すばらしいことであり、小田高校のよき伝統が引き継がれていると感じる。</li> <li>・生徒たちは、とても前向きで、よく頑張っていると思う。</li> <li>・剣道部の四国大会出場をはじめ、県総体・県高文祭等に延べ45名が出場しているのはすばらしい。</li> </ul> <p>(4) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部からは、進路の結果が気になる。小田高校の最大の評価が進路実現だと思えるので、引き続き指導をお願いしたい。</li> <li>・全てにおいて一つ上の目標を持たせ、進路指導されていることに感謝するとともに、敬意を表したい。</li> <li>・キャリア教育の充実を図り、早いうちに進路希望や目標を定めることが重要ではないか。</li> <li>・教職員のアンケートで、進路情報の提供不足を感じている教員が15%いたのが気になった。</li> </ul> <p>2 その他本校教育全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、分校となるが、本校と合同の練習試合などをしてはどうか。</li> <li>・立派な武道場を有効に活用し、中学校の部活動と交流を図ってはどうか。</li> <li>・小田高校の人材育成事業は、町内でも非常に関心が高い。新しい時代を担う人材育成に向け、更に推進してほしい。</li> <li>・分校となることは寂しく感じるが、学校が益々発展するよう協力したい。</li> <li>・生徒が地域に向かい活動が、更に増えるとういと思う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のみならず、企業、行政、小・中・大学等との連携を更に深め、魅力ある教育活動の一層の充実を目指したい。</li> <li>・充実感を得られていない生徒も少なからずいることから、生徒の意欲・関心を高め、一人一人が達成感を感じられるよう、行事や活動の内容の見直しを図りたい。また、教育活動の様々な場面において、生徒が自己肯定感を高めることができるよう努めたい。</li> <li>・令和元年度から学校設定科目「ふるさと探訪学」「プロジェクト学習Ⅰ」を新たに開講しており、更に魅力的な教育課程編成の研究を行っていききたい。</li> <li>・家庭学習については、昨年度から継続している課題である。近隣に学習塾などがないこともあり、放課後、学校に残って勉強できるよう、学習環境を提供する試みも始めている。学習の質の向上に関する意識付けを図るとともに、引き続き家庭への協力もお願いしたい。</li> <li>・「分かる授業」に対して、生徒はおおむね高く評価しているが、「やる気」が起きないと答えた生徒も6%程度いることから、生徒の興味・関心を高める授業実現に一層努めていきたい。</li> <li>・生徒数の減少に伴い、部員の確保も難しい状態にあるが、引き続き、生徒が活躍できる場を確保できるよう努めたい。</li> <li>・目標の60%は達成できなかったが、長期欠席者や安易に欠席をする生徒はいない。1～3日の欠席者が目立つことから、日々の体調管理がきちんとできるよう呼び掛けていきたい。</li> <li>・全校一斉での身だしなみ指導は行っていないが、服装はおおむね良好である。挨拶もきちんとできていると思われるが、引き続き、全教職員の共通理解の下、適切な指導を行っていききたい。</li> <li>・職場見学やインターンシップ、外部講師による講演会やガイダンス、校内での学年に応じた進路指導など、キャリア教育の充実に向けている。生徒数減により、これまでどおりの実施が困難な状況も予想されるが、工夫しながら対応していきたい。</li> <li>・保護者懇談会では、事前に保護者からアンケートを取り、必要な進路情報の提供に努めているが、今後とも有効な情報提供を目指していきたい。</li> <li>・就職・進学ともに、達成率100%を継続している。</li> <li>・来年度は、小田分校単独で高体連に登録しており、本校との合同チームとはならないが、機会を見つけて交流を図りたい。</li> <li>・現在も剣道部は中学校との交流が多い。今後は、バレーボール部なども、積極的に交流していきたい。</li> <li>・起業家教育プログラムや学校設定教科「探究」での学習、地域の祭りや施設訪問等の特別活動を通して、地域に向かい活動する場面は意外と多い。生徒の負担等も考え合わせながら、効果的な実施を目指したい。</li> </ul>		